

令和7年度学校評価アンケート集計結果について（考察）

長崎県立島原特別支援学校

1 実施期間 令和7年12月3日（水）～12月17日（水）

2 回収率 保護者 68%（前年比+2） 教職員 91%（前年比+1）

3 考 察

※成果を○、課題を●で表す。

※評価は下記のとおり4段階の数値評価とした。

【4：当てはまる 3：やや当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：当てはまらない】

《保護者評価》

○全体的な評価（総計中央値）は3.6ポイント（前年比-0.1）で、おおむね高い評価である。

○各評価項目については下記のとおりおおむね高い評価である。

〔教育活動〕3.6ポイント（中央値）（前年比-0.1）

〔教育環境〕3.7ポイント（中央値）（前年比-0.1）

〔開かれた学校〕3.7ポイント（中央値）（前年比-0.1）

○評価が高かった内容（平均3.7ポイント以上）は下記のとおり。

〔教育活動〕

番号 1 「学校教育目標に基づいて適切な指導ができており、子供の成長を感じる。」

番号10 「学校は、子供の人権を大切にし、体罰やいじめのない学校づくりに努めている。」

〔教育環境〕

番号11 「学校は、よく清掃がなされ、教育活動に必要な施設・設備は整備されている。」

番号13 「学校は、子供が安全・安心な学校生活を送れるよう、防災教育の推進や事故防止に努めている。」

〔開かれた学校〕

番号14 「学校は、学校間や地域との交流活動に努めている。」

番号15 「授業参観や保護者面談を行い、来校しやすい機会を設けている。」

番号16 「学校は、保護者からの連絡や相談に対して適切に対応している。」

子供たちが安全安心な学校生活を送れるよう、家庭と連携しながら有意義な教育活動を行っていることが評価された結果だと推察される。

●他と比べて評価が低かった内容（平均3.5ポイント以下）は下記のとおり。

〔教育活動〕

番号 2 「学校は、子供の自立を目指した小中高一貫性のある教育活動を行っている。」(3.5)

番号 6 「学校は、子供の成長に合わせ、将来を見通した進路指導を行っている。」(3.5)

子供の成長を願う保護者の思いと子供の将来の生活への不安、特別支援学校への期待の表れだと推察する。われわれ教職員には、子供の変容と課題を引き継ぎ、切れ目のない指導や支援が求められている。障害のある児童生徒の発達段階や特性に応じた指導や支援、対応を行い、安心できる環境の中で、彼らが自分の可能性を最大限発揮できるようにするとともに、活躍の場を広げていくようにすることがわれわれの重要な使命である。

●自由記述で、下記の指摘があった。各学部や各校舎で要検討・要改善事項として対処していく。

要旨

〈小学部〉

- 運動会と発表会が隔年開催は非常に残念。開催時期は感染症流行の少ない早期がよい【行事】
- 先生と保護者の交流の場を設定し、お互いのことを知り話しやすい関係をつくる【親睦（茶話）会】

〈中学部〉

- 運動会11月開催は、インフル等が出始めるので開催時期を早めてほしい【行事時期】
- 進級等で担任等が変わるときは、子どもに対する声の掛け方や促し方、指導方法などを確実に引き継いでほしい【引継ぎ】【連携】
- 子どもたちの気持ちに配慮した対応をしてほしい【生徒対応】
- 事務室付近の廊下の明かりが暗い【施設環境改善】

〈高等部〉

- 意見を伝えられる機会を定期的に設けてほしい【意見聴取】
- 保護者と教員のみで、子どものことを相談できる機会がほしい【面談設定】
- 生徒、教員、保護者みんながお互いに挨拶を交わすようにする【挨拶励行】

《教職員評価》

○全体的な評価（総計中央値）は、3.6ポイント（前年比-0.1）で、保護者評価と同値である。

○各評価項目については下記のとおり。

〔教育活動〕3.6ポイント（中央値）（前年比-0.1） 保護者評価と同値

〔教育環境〕3.4ポイント（中央値）（前年比±0） 保護者評価を0.3ポイント下回る

〔開かれた学校〕3.6ポイント（中央値）（前年比-0.1） 保護者評価を0.1ポイント下回る

○評価が高かった内容（平均3.7ポイント以上）は下記のとおり。

〔教育活動〕

番号10「学校は、子供の人権を大切にし、体罰やいじめのない学校づくりに努めている。」

〔教育環境〕

番号13「学校は、子供が安全・安心な学校生活を送れるよう、防災教育の推進や事故防止に努めている。」

〔開かれた学校〕

番号15「授業参観や保護者面談を行い、来校しやすい機会を設けている。」

番号16「学校は、保護者からの連絡や相談に対して、適切に対応している。」

教職員は子供の安全安心を第一に考え、保護者に対しても真摯に対応することを心がけている結果であると推察される。

- 他と比べて評価が低かった内容（平均3.5ポイント以下）は下記のとおり。

〔教育活動〕

- 番号 2 「学校は、子供の自立を目指した小中高一貫性のある教育活動を行っている。」(3.2)
- 番号 3 「学校と家庭が必要な情報を共有し、連携しながら指導を進めている。」(3.5)
- 番号 4 「学校は、細やかな実態把握に基づいて的確に子供を理解し、個に応じた指導・支援を行っている。」(3.5)
- 番号 5 「学校は、「個別的教育支援計画」を活用し、子供のめざす姿を見据えた指導を進めている。」(3.5)
- 番号 6 「学校は、子供の成長に合わせ、将来を見通した進路指導を行っている。」(3.4)

〔教育環境〕

- 番号 1 1 「学校は、よく清掃がなされ、教育活動に必要な施設・設備が整備されている。」(3.3)
- 番号 1 2 「学校は、わかりやすい案内表示や校内掲示（児童生徒の作品展示を含む）をしている。」(3.4)

〔開かれた学校〕

- 番号 1 4 「学校は、学校間や地域との交流活動に努めている。」(3.5)
- 番号 1 7 「PTA活動は、保護者と協力して適切に行われている。」(3.4)

教育活動については、特に、番号2及び番号6のポイントが他と比べて低い。教職員も保護者と同様に、子供の将来を見通した小中高一貫性のある教育活動の充実の必要性を感じている。引き続き、教育課程（教育活動）や進路指導の改善充実、児童生徒情報の確実かつ丁寧な引継ぎ、事例研究、指導力（専門性）向上に努める必要がある。

教育環境については、清掃や教育活動に必要な施設設備の整備充実を課題と感じている教職員が多い。予算の兼ね合いを見て優先順位や緊急性を確認しながら改善に努めていく。

- 自由記述で、下記の指摘があった。各学部や各校舎で要検討・要改善事項として対処していく。

特に、複数の学部から記述のあった「教材研究の時間確保」は、教育活動の充実につながる必要不可欠なものであるため、教員の業務精選などを一層進めながら早急に実現させる必要がある。

要旨
<p>〈小学部〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習の積み上げが見えやすい評価への改善【学習評価】【指導の系統性】 ●管理職による授業参観【児童生徒理解】 ●研修会等の業務負担軽減【研修等の業務精選】 ●除草作業や駐車場誘導など業務負担軽減【教員の業務精選】 ●教員の資質能力の向上【研修の在り方】 ●教材研究の時間確保【授業準備時間の確保】 ●保護者への教育課程の説明【説明責任】 <p>〈中学部〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教科担当制【教科指導力】 ●意見を伝えやすい仕組み【Teams や Forms 活用】 ●呼び捨てをしない【人権尊重】 ●校門施錠【防犯対策】

〈高等部〉

- 保護者を加えたプロジェクトチームの立ち上げ【働き方改革の推進】
- 教材研究の時間確保【授業準備時間の確保】
- 学校と保護者、地域が互いに話をしやすい環境づくり【開かれた学校づくり】
- 生徒理解へのたゆまぬ努力【省察的实践】【生徒理解】

〈分教室〉

- 校外学習を行う費用の確保【予算確保】

〈事務室〉

- 施設設備の老朽化への対応【施設設備改修】
- 感染症対策【マスク着用、隔離部屋確保】
- 登下校対応の負担軽減【保護者の協力】